

「2016年 年頭の挨拶」

明けましておめでとうございます。

昨年は、JSC という組織が、社会的に重要な役割を担っており、大きな責任を背負い、また大きな期待を寄せられているという、自らのあり方そのものを再確認する機会となった1年であったと認識しております。

新国立競技場整備等について、関係各所からの厳しいご指摘をいただきました。既にプロジェクトマネジメント機能・推進体制・情報発信機能・内部統制の強化等の改善に取り組んでいるところです。引き続きしっかり取り組んでまいります。

新国立競技場につきましては、昨年末、「関係閣僚会議」での点検を経て、整備事業の優先交渉権者を決定し、新たなスタジアムの姿を皆様方に示すことができました。新整備計画に短期間で対応することができたのは、関係各位からのご支援・ご指導・ご助言の賜物と深く感謝しております。

これからも様々な課題が待ち受けておりますが、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会、そしてその先を見据え、国民の皆様方から愛され、アスリートはもとより、子供から高齢者、障がい者の方々も気軽に集えるスタジアムを作れるよう、関係各所とスクラムを組んで進めていくこととしています。

本年、8月から9月にかけて、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックが開催されます。JSC といたしましても、国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンターによるサポートなどのハイパフォーマンス事業を通じて、競技力向上のための取り組みを支援することとしています。2016年の成功が2020年大会にも繋がる大きなステップアップの1年となるよう取り組んでまいります。

さらに、本年は新たな休日「山の日」が誕生します。登山に関する関心が高まり、安全登山を支える国立登山研修所の役割もますます重要になりますので、しっかりとその役割を果たしてまいります。

また、スポーツ振興くじの売上げ増に向けた一層の取り組みをはじめ、JSC が取り組むべき課題は多々あると認識しております。

スポーツ基本法の理念のもと、コーポレート・メッセージ「未来を育てよう、スポーツの力で。」に込められている「スポーツの力」で、元気や感動、明日への力にあふれた日本を実現し、限りない可能性のある未来を国民の皆様と一緒に育てるというビジョンを実現するために、JSC 役職員一同総力を結集して取り組んでまいります。

2016年も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

独立行政法人日本スポーツ振興センター
理事長 大東 和美